RIBF-ULIC-miniWS-11

仁科センター共用促進・産業連携部公募研究会 申請書（mini-WS用）

提出年月日： 2011/11/9 Rev. on 2011/12/06

提出先： sympo-kyoyo[at]ribf.riken.jp

1） 開催予定日・場所

日程： 2011 年 12 月 21 日 (yyyy/mm/dd) ～ 2011 年 12 月 21 日 (yyyy/mm/dd) （開催日数 1 日間）

場所： RIBF棟 2F 小会議室 （203号室）

※ 事前に仁科センターのセミナー委員会（ npsoc@ribf.riken.jp ）に連絡し、日程重複を避けるようにしてください。

2） タイトル

英文 （※必須）	Polarization phenomenon in proton elastic scattering from unstable nuclei
和文	陽子－不安定核弾性散乱における偏極現象

※ 採択された研究会はRIKEN Accelerator Progress Report に掲載するため英文タイトルは必須です。

3） 目的 （400字以内・書式自由）

核子弾性散乱に見られる偏極現象は、原子核反応におけるスピン軌道結合の最も直接的な現れである。陽子－安定核間のスピン軌道結合についての理解は偏極陽子ビームを用いたスピン非対称測定を通じて良く確立しているのに対し、不安定核の散乱実験において偏極物理量を測定することは現実的に不可能であった。これに対し、東大CNS及び理研で新たに開発した偏極陽子標的を用いることで、不安定核（ヘリウム６及び８）からの陽子弾性散乱の偏極分解能が初めて測定された。本ミニワークショップでは、畳み込み模型計算や相対論的インパルス近似など、核子弾性散乱の偏極現象に関する理論的なアプローチの進展について議論する。さらに、中性子過剰核の広がった密度分布が偏極物理量に与える影響を詳細に調べるために今後取得すべきデータについて検討を行う。

4）世話人

世話人全員を記入。欄が不足する場合は行をコピーしてください。

	氏名	所属機関	電話	E-mail
世話人 1	坂口聡志	九州大学・理	092-642-2545	sakaguchi@phys.kyushu-u.ac.jp
世話人 2				
世話人 3				
RIBF内世話人	上坂友洋	理研仁科センター	048-467-9383	uesaka@riken.jp

※ 理研RIBF内に世話人がいない場合は事務局へご連絡ください。

5） 参加予定者・補助概算額

欄が不足する場合は行をコピーしてください。

氏名	所属機関	旅費補助 ※補助予定者についてのみ記入				
		交通費概算		宿泊費概算		
		経路	金額	単価	泊数	宿泊費計
Charlotte Elster	Ohio University					¥ -
嘉規香織	静岡大学・理	静岡－和光市(往復)	¥ 13,000			¥ -
井芹康統	千葉経済大学					¥ -
上坂友洋	理研仁科センター					¥ -
坂口聡志	九州大学・理	福岡－羽田－和光市(往復)	¥ 40,000	¥ 2,500	2	¥ 5,000
蓑茂工将	九州大学・理	福岡－羽田－和光市(往復)	¥ 40,000	¥ 6,500	1	¥ 6,500
						¥ -
						¥ -
						¥ -
						¥ -
						¥ -
						¥ -
						¥ -
合計		¥				104,500

参加予定者全員の氏名・所属機関を記入し、旅費補助予定者については補助概算額を記入してください。

【注意事項】
- 外国から招へいする場合は、日本国内の旅費と宿泊費をサポートします。
- 東京都・埼玉県内に勤務する参加者は旅費補助の対象外です。
- サポートは実費です。
- 宿泊費は6,720円／泊を上限とします。

■ お茶代

ミニワークショップについてのお茶代の補助はありません。

補助申請額合計	¥	104,500

※ 上限：150,000円